

地域らしさを育む確かな価値

宇都宮市を拠点に、地域を支える数多くのシンボル施設を生み出してきたA I S総合設計が、創業85周年を迎えた。近年は活動範囲を首都圏、さらに全国へと広げ、各地域のまちづくりに寄与している。理想として追求するのは、企業理念にうたう「構造美」であり、徹底的に機能を磨き上げることで浮かび上がる無駄を削ぎ落した清

楚な造形の建築だ。利用する人や目的、時代や地域にふさわしい建築としてより多くの人の賛同を得ることで、激しい都市間競争や人口減少にさらされる地域の創生や活性化に確かな価値を提供してきた。近年の代表作品を紹介することで、常に時代の先を見据え、進化し続けるA I S総合設計の現在と今後を展望する。

建設
通信
新聞

第二部

発行所
日本建設通信新聞社
〒101-8504
東京都千代田区神田錦町3-13-7
電話 03-5269-8711



JR宇都宮駅東口交流拠点施設「ライトキューブ宇都宮」宮中「ライトビル」

 AIS 総合設計 創業85周年
Architectural Innovation & Systems

シティで次世代まちづくり

人口減少時代に対応した持続可能な都市構造であるNCC(ネットワーク型コンパクトシティ)をまちづくりの基盤とし、J-R宇都宮駅東口地区(以下「駅東口地区」)の整備事業やLRT(次世代型路面電車)新設などを通じた「スーパースマートシティ」の取り組みが全国的に注目される宇都宮市。先進的なまちづくりをけん引する佐藤栄一市長と、J-R宇都宮駅東口交流拠点施設「ライトキューブ宇都宮」など市内のシンボル施設を数多く手掛けてきたAIS総合設計の佐々木宏幸代表が地域創生・活性化と建築設計の在り方をテーマに対談し、次世代に向けたまちづくりを展開した。

建築設計と地域創生、活性化の視座

—地域らしさを育む意義と方法—

宇都宮市長 佐藤 栄一氏



人とデジタルを原動力に成長

佐藤 少子高齢化が急速に進み、三大都市圏以外の地方都市は、人口減少で消費が落ち、企業数が減り、税収も減るという悪循環に落ち込むことが予想されています。人口減少はわが国の有史以来、初めてのことであり、これがゆくり進むなら対応できませんが、2050年には人口が1億人を割ることも予想されるなか、あまりにも早いスピードで進んでいます。そこを地方都市がどう乗り越えるかが重要です。本市は、人口や出生率の増加を目指し、交流人口も獲得しながら、人口が減りにくいようまちづくりを進めています。今後を考えると、少ない現役世代でも社会を支えることができるまちづくりが必要です。

宇都宮市は、地方中核都市としてどのような発展の道筋を描いていますか



2階エントランスホール

—宇都宮市は、地方中核都市としてどのような発展の道筋を描いていますか—

宇都宮市は、地方中核都市としてどのような発展の道筋を描いていますか

佐藤 人口約51・5万人の本市は、一つのコンパクトシティ(拠点)ではなく、全国初の全線新設によるLRTや既設のJ-R線、東武線、路線バスなどの基幹・幹線公共交通、都市の骨格を形成する環状12放射道路等の交通ネットワークで中心部や複数の拠点をつないでいくNCCの構築を進めています。各拠点には診療所やスーパー、



最大600人定客する1階ホール

銀行などの日常生活に必要な機能を備えていくため、助成制度などの支援策を用意し、また、居住についても助成制度を使って住み替える時に拠点内に移動してもらうなど、緩やかに誘導します。高齢化により車を運転できなくなる人も増えるため、地域内交通(乗り合いタクシー)などの公共交通を十分に配置し、自分の意思で力でも自由に移動し、安心して日常生活を送ることができるようにします。

NCC土台にLRT、Maasを導入

一つはNCCを土台に地域共生社会、地域経済循環社会、脱炭素社会の3つの要素が融合し、「一」とデジタルを原動力にまちを成長させていきます。また、交流人口を増やすため、LRTやMaas(モビリティのサービス)も導入し、効率的に移動できる社会を実現することで、自ずとSDGs(持続可能な開発目標)も達成できる、次世代に向けたまちづくりを目指しています。その完成形がスーパースマートシティです。

佐々木 市域が広く、いくつかの拠点が既に形成されている宇都宮市では、それらをネットワークするまちづくりが適していると思います。NCCを実現するには、各拠点に公共施設やさまざまな生活サービス施設を構築することが求められるため、われわれ設計者も建築という社会インフラの整備に貢献することができそうです。

佐藤 NCCは、その中心となる都市拠点到核となる施設がないと瓦解、分解してしまつて恐れがあります。市民センターや総合病院、駅などが磁石の役割を担い、人を惹きつけることがまちの維持・発展に必要です。

佐藤 NCCは、その中心となる都市拠点到核となる施設がないと瓦解、分解してしまつて恐れがあります。市民センターや総合病院、駅などが磁石の役割を担い、人を惹きつけることがまちの維持・発展に必要です。

佐藤 NCCは、その中心となる都市拠点到核となる施設がないと瓦解、分解してしまつて恐れがあります。市民センターや総合病院、駅などが磁石の役割を担い、人を惹きつけることがまちの維持・発展に必要です。

公共建築がNCCの中核施設に



大石を外装材として活用する工法を開発

重要な課題でした。その中でわれわれが導き出した提案は「駅前に壁をつくらない」というものでした。

例えば、改札を出て東西自由通路を通り抜ける、目の前が開けている空間をつくりました。2階レベルの東西自由通路から交流広場につながりますが、その下に会議室を埋め込むことで視界を確保しています。併せて1階と2階のそれぞれの空間を広く確保した交流広場は、大階段がつながり、ライトキューブ宇都宮の大ホールの上にも交流広場を設けています。1階から3階まで連続して交流広場をつなげた、なかなか類を見ない建築で、コンセプトを変えずにひたすら建築の質の向上を目指す中で生まれたプランです。

産業振興も考えてプロジェクト推進

大谷石は、旧帝国ホテルなど近代日本を代表する建築に建材として数多く使用され、市を代表する地場産業ですが、柔らかい素材のため風雨に弱いと言われ、建築の外装に使うのは難しいとされてきました。今回、ライトキューブ宇都宮の建設に合わせて、大谷石石材協同組合と連携し、共同研究した結果、外装材としても使える工法を編み出しました。大谷石を外装材として堂々と使えるようになったことで、販路の拡大につながります。市内の産業振興を考えながらプロジェクトを進めたのも特徴です。

佐藤 今回開発した外装材の視察も多く、県内はもとより全国でも使っていたことを期待しています。本市が主導するプロジェクトにも多くの地元企業が参画し、それぞれが次の時代に成長する糧を見出すことで産業振興につながれるようにしたいと思っています。

佐々木 ライトキューブ宇都宮は、J-R宇都宮線をまたぐ東西自由通路を通り抜けた先にある東口の駅前空間を整備されています。巨大な施設をつくる駅前空間が閉鎖されてしまつたため、建物を含む景観の在り方がとても

佐々木 ライトキューブ宇都宮は、J-R宇都宮線をまたぐ東西自由通路を通り抜けた先にある東口の駅前空間を整備されています。巨大な施設をつくる駅前空間が閉鎖されてしまつたため、建物を含む景観の在り方がとても

スーパースマート

AI S総合設計
代表取締役 佐々木 宏幸氏



建築の質高め、新時代に貢献

——地域活性化や、それを支える地域らしさの醸成を図る上で、設計事務所が期待することは、

佐藤 ライトキューブ宇都宮のようなデザイン的、機能的に優れた建物の存在が、交流人口の増加に大きく貢献すると思います。地元の人だけでなく来訪者にも宇都宮を深く理解してもらうきっかけになります。そうすることで経済活動を展開してもらい、地元企業が成長することが重要です。インバウンド(訪日外国人客)も増え、宇都宮は綺麗で過ごしやすくと評価していただいています。

優れた建物の存在が
交流人口増加に寄与

一方で、地方都市であるほど歴史の

ある建物を観光資源として有効活用していくことが重要です。そのためには改修も必要です。観光客にも一度訪れたいと思われるような設計事務所のデザインや発想力が大切になります。そうしたハードの整備も次世代に引き継ぐまちづくりの中で重要な要素になると思います。

佐々木 20年前の駅東口地区整備事業の提案競技では最初に「七木・七水・八河原(ちき・しづみ・やち)はちがわら」というテーマを設定しました。これは宇都宮の名所を表す数え歌で、七つ水というくらい宇都宮は水が豊かで、川の美しい原風景を持っています。そうした地域の特性を設計に生かすことも必要だと思います。そして建設産業の中で設計者は最初にプロジェクトに触れる存在のため、プロジェクトの方向性を定める重要な役割を担います。間違った方向にいかないようにするには、建築士法の目的である「建築の質の向上」を常に考える姿勢が大切になるのだと考えています。

——拠点施設として公共建築の重要性が高まると思いますが、機能や役割で重視(重視)は

佐藤 公共建築は、NCCにおける各拠点の中核施設となり、人を呼び寄せる磁石の役割を担うほか、防災拠点にもなります。市民が利用する公共建築にカーボニートルを率先して導入することで、模範を見せる必要もあります。そして国内外の観光客やビジネスマンが過しやすい、魅力的なデザインにすることも、リニアールに対応できる財政的な体力も必要です。

工は県内企業のみ51社(元請けのみ)が参加してつくりあげました。オール栃木で取り組んだ印象深いプロジェクトでした。

また、新幹線からよく見える市のスケートセンターは私が若いときに設計したもので思い出深い施設です。近年は宇都宮市立一条中学校やゆいのか小学校などでも手掛けさせていただきました。

——AI S総合設計の今後に期待することは

佐藤 われわれ行政ではできないことは、民間のノウハウに頼るしかありません。佐々木社長は日本建築士事務所協会連合会(日事連)の会長を務められていた経験もあり、最先端の情報や最新技術が入ってくる立場でもあり

す。宇都宮を良いまちにするにはきちんとした公共建築をつくり、人や企業が集まるように誘導しなければなりません。公共建築が評価されることで、周辺にある民間の建物や土地の評価や価値も引き上げられていきます。都市の社会資産の評価が高まれば、民間投資の活発化など好循環のまちがさらに広がっていきます。このため、公共建築のデザインや快適性を表現する上で設計事務所が期待するところは非常に大きいです。

佐々木 当社が宇都宮市内で手掛けた公共建築の中で特に印象に残るのが栃木県立宇都宮工業高等学校です。建設業界に多くの人材を輩出してきた同校を建て替えるにあたり、県内の設計事務所を集めて設計競技が行われ、当社の案を選定していただきました。施



3層を連続的につなぐ広場が「宮たいタイトル」を構築する



3階中ホール。木の天井により華やかな空間を演出する



大階段は市民の憩いの場になる

ライトキューブ宇都宮に大谷石を積極活用

建築の最新技術と
次世代まちづくり融合

佐々木 日事連では、全国の設計者を対象に「マロニエBI M設計コンペティション」を開催しています。そもそもこのコンペは、14年に栃木県建築士事務所協会が建築を学ぶ学生を対象にBI M技能の向上を目指し、宇都宮市内で開催していました。対象を一般の設計者に広げるため、19年からは日事連との共催になり、全国をフィールドに各単位の持ち回りで開催しています。今回から国土交通大臣表彰が創設され、日事連の会員のみなさん一般の設計者の参加も受け付けることで技術の普及を図っています。

3次元データと属性情報を一元的に扱うBI Mは、ウォークスルーなどを活用し、事前にクライアントと建物の完成形を見ながら作業を進めるなど、設計の方法が変わります。今後はAI(人工知能)と連携した自動設計も進み、建設生産の在り方が大きく変化するでしょう。国土交通省は23年度から建築BI M加速化事業による補助事業を展開するため、われわれもさらにBI Mを推進したいと思っています。

こうした最新技術を設計事務所が実装することで、NCCやスーパーマートシティとの相乗効果も期待できるでしょう。建築の質を高める取り組みを続けることで、新しい時代のまちづくりに貢献していきたいと思っています。



①建築主②所在地③構造規模④設計者⑤施工者⑥完成年月

宇都宮駅西口南地区第一種市街地再開発事業



①宇都宮駅西口南地区市街地再開発組合②宇都宮市③RC造・免震構造地下1階地上20階建て延べ約1万3,600平方㍍④A I S総合設計⑤未定⑥2025年度 (予定)

那珂川町屋内水泳場



①那珂川町②栃木県那須郡那珂川町小川1243番地2③S造平屋建て1,629平方㍍④A I S総合設計⑤浜屋・平野 J V⑥2022年3月

真岡市複合交流拠点施設整備運営事業



①真岡市②栃木県真岡市荒町5131番他③S造4階建て延べ7,337.78平方㍍④清水・アール・アイ・エー・A I S J V⑤清水建設⑥2024年9月 (予定)

真岡市総合運動公園硬式兼軟式野球場



①真岡市②栃木県真岡市小林1940番地外③RC一部S造2階建て延べ2,457平方㍍④A I S総合設計⑤〈建築〉剋真・大瀧・日光 J V〈電気〉光陽エンジニアリング〈機械〉ウエノ工業⑥2023年11月 (予定)

中野区立令和小学校



①中野区②東京都中野区新井4-19-26③RC一部S造5階建て延べ1万0,209平方㍍④A I S総合設計⑤〈建築〉米持・明成・協永 J V〈電気〉宮崎・東新 J V〈機械〉さかえ・横山 J V⑥2022年6月

栃木県立足利高等学校



①栃木県②足利市有楽町836ほか③RC造3階建て延べ1万1,736平方㍍④A I S総合設計⑤〈建築〉(校舎)大協・岩澤・篠崎 J V〈体育館〉真進・榎・斎藤 J V〈電気〉(校舎)半田・渡辺・青山 J V〈体育館〉小林電設〈機械〉鈴木・今泉・島田 J V⑥2024年7月 (予定)

栃木県庁那須庁舎



①栃木県②栃木県大田原市本町2丁目2828-4③RC造5階建て延べ7,434平方㍍④A I S総合設計⑤〈建築〉(本館)那須・石川・七浦 J V〈附属棟2〉核岡・生駒 J V〈附属棟1〉猪股建設〈電気〉(本館)伊藤・三和・大進 J V〈附属棟2〉光陽エンジニアリング〈機械〉(本館)大橋・佐藤・小出 J V〈附属棟2〉地熱工業⑥2023年1月

①建築主②所在地③構造規模④設計者⑤施工者⑥完成年月

カンセキスタジアムとちぎ



①栃木県②宇都宮市西川田2③RC一部S・SRC造4階建て延べ4万2037平方メートル設計・A I S総合設計・本澤建築設計事務所J V④入建築・鹿島・増淵・渡辺・那須土木・磯部・浜屋J V

△電気△ユアテック△三信△太進△テクノ△中央△前田J V△給排水△日神△中△横山J V△空調△藤井・小牧△金箱J V⑥2020年3月

ユウケイ武道館



①栃木県②宇都宮市西川田4③RC一部S造2階建て延べ9761平方メートル設計・フクダ設計・田村忠設計事務所J V④メイン・武道場新築工事△中村・板橋・岩村J V△サブ・武道場新築工事

事△東武・日豊△松本J V△空調△岩原・北斗△鬼怒川J V△電気△協新△半田△関島J V△給排水△和田△大座J V⑥2019年3月

栃木県宇都宮東警察署



①栃木県②宇都宮市中今泉3-5-8③RC造4階建て延べ7,220平方メートル④A I S総合設計⑤〈建築〉中村・増淵・渡辺J V〈電気〉協新・船見・美工J V〈機械〉岩原・藤井・北斗J V⑥2021年8月

下野市立南河内小中学校



①下野市②栃木県下野市薬師寺地内③RC一部S造3階建て延べ1万5,087平方メートル(内増築部分7,320平方メートル)④A I S総合設計⑤清水・小林・前原J V⑥2022年1月

宇都宮PEAKS



①宇都宮大手地区市街地再開発組合②宇都宮市馬場通り3-4-7③RC・S造免震構造地下1階地上31階建て延べ2万9,406平方メートル④アール・アイ・エー、A I S総合設計⑤東武・渡辺・中村・増淵J V⑥2019年2月

クリーンセンター下田原



①宇都宮市②宇都宮市下田原町3435③RC一部S造4階建て延べ9,690平方メートル④川崎技研・大豊・渡辺・増淵J V(建築設計協力A I S総合設計)⑤川崎技研・大豊・渡辺・増淵J V(建築設計協力A I S総合設計)⑥2019年12月

中野区立美鳩小学校



①中野区②東京都中野区大和町4-26-5③RC一部S造3階建て延べ1万0,159平方メートル④A I S総合設計⑤〈建築〉協永・稲葉・武蔵野J V〈電気〉成瀬・加藤J V〈機械〉さかえ・サンエツJ V⑥2020年10月

日光市日光庁舎



①日光市②栃木県日光市御幸町4番地③S造2階建て延べ2,362平方[㍎]④A I S・翔 J V⑤〈建築〉磯部・星野 J V〈電気〉イマデン・福洋電機商会 J V〈機械〉稲葉・宇梶 J V⑥2018年3月

特別養護老人ホーム万葉堀米の里



①社会福祉法人常盤福祉会②栃木県佐野市堀米町1270-8他③S造4階建て延べ2,910平方[㍎]④A I S総合設計⑤篠崎建設⑥2018年5月

共英学校給食共同調理場



①那須塩原市②栃木県那須塩原市共壘社92番地34③S造2階建て延べ3,173.63平方[㍎](5,000食)④A I S総合設計⑤〈建築〉万・福田・高野 J V〈電気〉H I T E C・大向 J V〈機械〉佐藤・エルコア・鈴木 J V⑥2018年7月

セキスイハイムミュージアム栃木



①栃木セキスイハイム②栃木県宇都宮市東宿郷5丁目4-1③S造2階建て延べ1,977平方[㍎]④A I S総合設計⑤岩村建設⑥2017年11月

栃木県庁芳賀庁舎



①栃木県②栃木県真岡市荒町116-1③RC造4階建て延べ5,826平方[㍎]④A I S総合設計・渡辺有規建築企画事務所 J V⑤〈建築〉斉藤・佐藤・剋真 J V〈電気〉協新・美工・間島 J V〈機械〉和田・ウエノ・水戸 J V〈塗装〉交建〈車庫棟〉大関建設⑥2017年12月

日光市歴史民俗資料館・二宮尊徳記念館



①日光市②栃木県日光市今市304-1③S造地下1階地上3階建て延べ2,095平方[㍎]④A I S・翔 J V⑤〈建築〉磯部・斉藤 J V〈電気〉早川・神山 J V〈機械〉稲葉・宇梶 J V⑥2016年8月

①建築主②所在地③構造規模④設計者⑤施工者⑥完成年月

あゆみ

1937年(昭和12年)
鈴木公共建築設計監理事務所を創業(鈴木公共建築設計監理事務所)
1967年(昭和42年)
宇都宮市明保野町に荒井功雄建築設計事務所を設立(荒井設計)
1986年(昭和61年)
社名を株式会社荒井設計に変更(荒井設計)
1992年(平成4年)
荒井設計グループ設立
建築設計部門を株式会社荒井設計、土木設計部門を株式会社荒井技研とする(荒井設計)
1996年(平成8年)
荒井功雄が会長に、佐々木宏幸が代表取締役就任(荒井設計)
2000年(平成12年)
国際規格「ISO9001」認証取得(荒井設計)
登録番号:BCJ-QS-0174
2001年(平成13年)
千葉事務所を移転し、東京事務所開設(荒井設計)
2003年(平成15年)
国際規格「ISO9001:2000」「ISO14001」を統合取得(荒井設計)
登録番号:ISO9001:2000-BCJ-QS-0174
ISO14001-BCJ-EMS-0077
2009年(平成21年)
東京事務所を南青山に移転(荒井設計)
2014年(平成26年)
「株式会社荒井設計」と「株式会社鈴木公共建築設計監理事務所」が合併し、社名を「AIS総合設計株式会社」に変更
2015年(平成27年)
東京事務所を浜松町に移転



代表取締役 佐々木 宏幸
創業 昭和12年7月

本社 〒320-0845 栃木県宇都宮市明保野町2-10
TEL:028-634-6010
東京事務所(港設計室) 〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目21番4号
崇城大学会館ビル
TEL:03-5402-4181
埼玉事務所/鹿沼営業所/大田原営業所/茨城営業所